

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 令和元年12月2日

事業所名: ユニバーサルスクール

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	定員に応じた十分なスペースを確保している。	ごちゃごちゃせず、見渡しやすい空間になっている。	保護者交流会や懇談等来所時に教室を見学・説明させていただきます。
	2 職員の適切な配置	人員を適切に配置している。	余裕をもって見てもらえていると思います。	保護者交流会や懇談等来所時に説明させていただきます。有資格職員のスキルアップを図っていきます。外部専門講師を活用しています。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	全教室バリアフリー。絵カードや文字プレートを掲示し、トイレや教室であることをわかりやすく表示している。	自分の子の特性に応じた環境と思う。	保護者交流会や懇談等来所時に見学・説明させていただきます。障害の特性に応じた合理的配慮ができているかを適宜見直し、改善を図ります。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日清掃・整理整頓を行う。物品の配置は適宜確認している。		保護者交流会や懇談等来所時に見学・説明させていただきます。SNSで療育の様子をお伝えします。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	支援前の打合せ・支援後の反省会を毎日行い、その結果をSNSで全職員共有している。定期的な職員研修により情報共有を確実にしている。		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	有識者6名による外部評価を11月より実施している。		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	常勤は研修を週一回行う。療育終了後毎日利用者に対して適切な支援・合理的配慮ができたかを話し合う。全職員対象の研修を毎月開催している。		
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	コーチングにより利用者や保護者のニーズを引き出し、計画を作成している。		
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	利用者の状況に応じた計画を作成している。	いつも今子どもに必要なことは何かを一緒に考えてくれるので、目標実現に向けて頑張ることができている。支援計画等のための懇談は十分時間をとっており、普段の様子も改めて伝えてくれる。	利用者や保護者のニーズを引き出し、利用者の状況に応じた支援計画を作成します。ご質問等を受ければ、速やかに対応します。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	短期目標・長期目標を踏まえた支援内容を記載している。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供 t (続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	計画を踏まえた支援を実施している。	子どもがいろいろな楽しい経験を積めるよう工夫してくれている。	毎回、利用日の療育の様子をSNSや連絡ファイル等を用いてお伝えします。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	21種類の療育を組み合わせる活動プログラムを提供している。スタッフによる療育の他に7名の外部専門講師が療育を実施している。	いろいろな療育があり、子どもにあった療育を選べるので、子どもも楽しく参加している。好きなクラスを選択できるので、大変助かっている。	外部専門講師の活用等療育プログラムの更なる充実を図ります。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	休日は公園等の野外活動も組み入れる。季節に応じた活動も行っている。(例)戸外水遊び・ハロウィン等		
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	定期的に療育内容を見直し、適切なプログラムが提供されるよう工夫している。		
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	個別支援計画を踏まえて、支援前の打合せを綿密に行う。利用者一人一人の特性を踏まえた合理的配慮を徹底している。		
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後に反省会を行い、その結果を記録し、特に合理的配慮を職員間で共有し実施している。		
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	支援記録に基づいて支援内容の見直し・改善を行う。		
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的に、また利用者の希望により適宜面談を行い、計画を見直している。			

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	児童発達支援管理責任者がサービス担当者会議に参画している。		
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当者なし。		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当者なし。		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	学校での問題に関する相談が多く、教育委員会・学校と連携して合理的配慮を提案し、解決に至っている。		
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	保護者交流会や懇談時また配布物にて障害福祉サービス事業所等の情報を収集し、提供している。平成31年4月より福祉事業型「専攻科」ユニバーサルカレッジが開校した。		
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	専門機関との連携等を図っている。		
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在実施していない。	詳しくは分かりません。	実施の予定はありません。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	猪名川甲英高等学院での体験学習を実施している。保護者交流会の講師に地域の福祉関連の方を招く。児童委員民生委員との交流がある。	猪名川甲英高等学院との交流があるのがよいと思う。	今後も実施する予定です。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	見学时・契約時の丁寧な説明を心掛けている。療育の目的・効果を説明するパンフレットを用意している。療育の様子を写真・ブログ等で詳細に説明している。	面談の時に説明を受けている。	ご不明な点・ご質問等があればその都度説明させていただきます。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	支援内容の丁寧な説明を心掛けている。	いろんな機会に説明してくれる。	
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレントトレーニング実施。懇談時にコーチングによる保護者支援を行う。コーチングに関する書籍を配布している。保護者交流会を開催する。	ペアレント・トレーニングを受けて子どもとの関係が改善された。	他にも、月一回全保護者を対象とした勉強会(ユニペアレンツの会)を開催しています。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	SNSや連絡ファイルを活用し、保護者との共通理解を図っている。子供の長所、よかったことを保護者に伝えるように心掛ける。	連絡帳にその日の療育の様子を書いたり、迎えに行くと話が聞けるので、わかりやすい。子どもの長所やよいところを伝えてくれるので、元気が出る。	お迎えに来られない場合も電話やSNS、連絡ファイル等を用いて、利用時のご様子をお伝えしていきます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	教育機関と連携し、保護者からの相談に随時対応し、解決している。	相談すると時間をとって面談の時間を設けてくれる。 定期的に面談があり、子どもの育児に関する助言がもらえる。	定期的な懇談に加え、その都度ご相談に応じます。学校での問題についても教育委員会・学校・保護者を交えた話し合いを行い、解決・効果を上げています。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	定期的に保護者交流会を開催している。今年度より全保護者を対象とした勉強会(ユニペアレンツの会)を月一回開催している。	保護者交流会はためになる。 ユニペアレンツの会に参加して保護者同士が仲良くなり、気持ちも安らいだ。	多くの方に保護者交流会等に参加いただけるよう工夫と内容の充実を図ります。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情ではなく、要望ととらえ、貴重な意見として迅速な対応を図っている。	苦情ではないが、困った時にはすぐ対応してくれる。	ご家庭からのお話には真摯に速やかな対応を心掛けます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	コーチングに基づくコミュニケーション、利用者の自尊感情に配慮した声掛けを行う。利用者の長所を伸ばすことを心掛けている。	いつも肯定的な対応で安心できる。 子どもへの対応が勉強になる。 迎えに行くと声を掛けてくれる。	利用者の自尊感情に配慮した声掛けを心掛けていきます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	保護者交流会の開催、スクールだよりの発行、SNSによる発信をおこなう。	会報・ホームページ以外にもLINEでも発信しているのでわかりやすい。	さまざまな方法で活動概要や行事予定、療育の様子などを発信していきます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	プライバシーポリシーを遵守している。	大丈夫だと思う。	個人情報の保護に努めます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	防災マニュアルを策定している。契約時保護者用保存版(16ページの要約版)を配布して、説明している。	マニュアルの説明も分かりやすかったと思う。	ご質問等はその都度説明させていただきます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	定期的に防災訓練を行っている。利用者へは防災の紙芝居を使い視覚的にイメージし、皆で話し合ってから防災訓練を行う。職員へは消防署の協力を得て防災訓練を行う。	大丈夫と思う。	避難訓練の実施状況はSNS等にて報告します。
	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	一か月に一回虐待防止に関する研修を実施する。		
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	精神的安定を図る合理的配慮により身体的拘束の必要性はないという考えである。		
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	個別に対応している。		
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	毎日の反省会、振り返りによりヒヤリハットがあったかを職員全体で確認している。ヒヤリハット事例を周知徹底し、再発防止に努めている。		